

車でしゅっぱ〜つ

目的：想像力を付ける。親は軽い運動

準備物：なし

内容

膝の上に子どもを乗せて「今日はどちらまで行きますか？」と聞く	今まで行ったことのある場所でも、絵本の中で見た場所でも良い
子どもが言った場所「〇〇までしゅっぱ〜つ」と言って、ハンドルを握る動作をする	「セーノ」の合図と一緒に「〇〇までしゅっぱ〜つ」という
「エンジンをかけましょう」と言って、一緒に「ぶるるる〜」と言う	エンジンの音を子どもと一緒にどんな音なのかいろいろと出してみる
「さあ行きますよう」と言いながら、子どもを腕の中に挟むような形でハンドルを握る動作をする 膝は小刻みに揺らしている	膝の揺らし方に変化をつける
「右に曲がりま〜す」と言いながら、両腕の中で子供の体を支えた形で、一緒に上体を右に傾ける	カーブや曲がり角などいろいろ登場させて、上体を傾ける角度を変化させる
「左に曲がりま〜す」と言いながら、両腕の中で子供の体を支えた形で、一緒に上体を左に傾ける	体が疲れた時に信号機を登場させる
「信号赤です。止まりま〜す」と言いながら、膝の揺らしも止めて休憩	
「青だ、進むぞ〜」と言いながら、膝を揺らす	ここで、いろいろなものを登場させて会話を楽しむ お花なら色や大きさや香りなどを空想させ、実物ではない想像の花でも否定せずに聞く 動物なら鳴き声を楽しむ
「あ！電車が走っている。なんの電車かな」「お花が見える。何色のお花かな」「鳥が飛んでいる。何の鳥かな」「〇〇くんは何を見つけた？」など、空想会話を楽しむ	時にはジャンプのように高くしたり、子どもの体をゆらゆら揺らして「どこを走っていると思う？」と聞いて、くうちゅう
でこぼこ道を通るときは体を持ち上げたりして、その時その時で変化をもたせる	走行や水中走行なども楽しむ
「とうちゃ〜く」と言って、目的地に到着したことを伝える	「ドライブ楽しかったね〜」といいながら、ギュッと抱きしめたり、体をなでたりする